磐城新聞

（十日夕刊）

休刊 大祭第一第三日曜
定價（壹枚二錢、壹ケ月五十錢、郵税十錢）
廣告料（雜報欄行五十錢 場所指定三十錢增）
發行兼編輯印刷人 蓮沼龍輔
發行所 福島縣平町田町拾六 磐城新聞社 電話五六四番

新自由主義とは何ぞ
死中活を求むるもの

わかみや生

◎中立議員の相場は今日に於て殆ど天井を打つて居る。今日までの議會であつたならば十名未滿の團體的計畫の如きは周より物の數でなかつた。今や事情は變つて居る、今や中立一顆の嚮背は或は全局面の運勢を左右するに足るとさへ想像されて居る。中立議員の鼻荒いのも尤もなことだ。否、その鼻息の荒い中立諸員の間から所謂新自由主義的團體の設立を發表して一種の注意を喚び起すのは不思議でない。

◎問題は理想の發表でなくて、その具體化の過程である。講壇的及び机上的人物如何なる過程に於てその理想を具體化せんとするのであるか。若し彼等にして現實を遊離した理想を承認するのであつたならば、その理想は空想、ある理想はその種類と名稱との如何に拘らず、具體化の過程に於て必ず現實と結ばざるを得ない。例へば外交問題にある所謂新自由主義の諸君は諸君の現新政治的、實として外交問題に對して如何に處せんとするのである乎

◎諸君は國際協調精神に於てその理想の實現を期するといふが、飽迄片思ひは協調の條件に負、如何に寡方に協調の精神が燃えて居ても、先方がその精神を無視して勝手な振舞をした場合は諸君は如何に處せんとする乎。例へば支那の態度された米國の仕打である

◎日支間の條約を無視して日本人の生命財産に害を及ぼしてさき所謂新自由主義の協調外交は支那政府に如何なる要求を爲さんとする乎。協調は問題でなくて、その具體化が問題である。諸君は此の場合に於て事[illegible]交と非新自由主義の外交との間に差異の有り得べき事を承認する乎。米國の排日は無茶である否、無茶の程度にまで進むだものがその排日的實質の展開である。日本政府は飽まで協調的だ米國政府に對して全く惰ないまでに協調的だ此の日本の協調的態度を鼻であしらつて來た者は米國である。所謂新自由主義の外交の理想は飽の片思ひと宋襄の仁とを條件として之を勇敢に主張せんとするのである乎

◎實際政治に於ける現實と理想との見解上の爭ひは結局、物を觀るの精粗に歸する。刻々生起の實際の問題に處するに當りて、豫定の概念だけを頼むの危險を認むる者は現實派だ。飽まで之を頼まんとする者は理想派だ理想派は主として講壇及机上から補充される。洞となれば講壇机上の研究は難問を難問として延期する。自由を許されて居るからだ政治は現實である最善を得ず次善を得ず凡中の凡を得ざる場合に於ても尙は往々として死中活を求むる態度を強ひられるものは政治だ。

※明日の暦※
舊二月二十一日
新四月十一日
吉日

▲一白 着々と實行に取掛かるべし必ずや次第增大す▲二黑 外に在りては不快を招き易き日神詣でには▲三碧 本分に專念なる時は自然の通運を見るべし▲四綠 枝葉に捉はず大局を守りて進退すべき日▲五黃 一喜一憂する小さき事と離れ油斷すべからず▲六白 顔鋒を斂め内に在りて英氣を養ふべきこと▲七赤 打ちつ打たれつつ暇なき變化のある日▲八白 ただどうは[illegible]素が第一▲九紫 眼割神佛の慈光に浴する樣な心地ある吉、

講談 闇に閃く男達 (59)

高田涙川作　尾崎雪麿畫

孝子の仇討

大八郎が今刀を拔かんとした途端人間の礫がその腕へドンと驚んで來た、それはいふ迄もなく金五郎が斬りかゝつて來た一人の子分を浪次郎危しと見て投げつけたのである、大八郎はアッと驚き後へタヂ〱すゝ際に浪次郎も又後へ下つたこれと同時に又一つの人間の礫が大八郎の胸にドンと來たから後へひつくり返つた

「ソレ浪次郎さん今ぢや、ソレ行けッ」

金五郎が聲援する浪次郎は父の仇思ひ知れと素早く脇を突き差した、急所の痛手大八郎はもう起き上れない、弱るのを待ち止めの一刀を刺した

この時向ふより急[illegible]て居る二人を朱に染まつた死体が街道の眞中に横たわり血刀さげた男がつゝ立つてゐる、物凄いこの場の情景に「ソリヤア人殺し」と駕をなげ出して元きし道へと一目散に走り出した、投げ出された駕から轉る樣にして出たのは一人の婦人であつた

「お女中びつくりなさるな我々は今ここで敵討をした所だ、決して他人をあやめる者ではないご心配なさるな」

金五郎は婦人を安心させてゐた

「ヤアお前は浪次郎」

婦人は驚いて逃げ出さんとした樣子がありそうだから素早く金五郎は引き捕へた

「浪次郎さんこの女を知つてゐなさるか」

「ヤア、それが姦婦のたつるで……」

たつるは大八郎の手紙によう家の首尾を作り姦夫に會ひに來たのであつた、その途中場所もあろうに大八郎の今殺されたといふ所で浪次郎の手に押へらるゝは天の配劑妙なりと言ふべしである

「ウムそれぢやこの女があのおつるかこりやいゝ所で捕つた、これも銀兵衛の引き合せだろう」

金五郎も大いに喜んだ

「金五郎さん、この姦婦も敵の一人、こゝで斬らして下さいませ」

浪次郎は再び血刀を振り上げた

「イヤ〱この女、切つてはよくない、手紙とこの女を生證人としてお上へ突き出さねば大八郎殺しの證明がたゝなくなる、何もお前さんが手を下さずともお上で敵をとつて下れば同じこと、かりにも一時母とせし者を手にかけるはよろしくない」

金五郎は浪次郎を說いた

そこでたつるに繩をかけ，浪次郎に繩尻をとらせ金五郎もつき添ひお上へ委細を申し出たたつるの白狀に男よりの手紙もあり、尙小田原へ照會せし結果は事明瞭になつて浪次郎は天晴れ孝子とほめられ、たつるは打ち首になつた

浪次郎は金五郎初め藤兵衞一家の人々に厚く禮を述べて小田原へ立歸り無事家業に勵んだ

氣絶してゐた子分は通行人が敬次の宅へ知らしたので仲間の者に助けられて正氣に返り今日の一切を物語つた、敬次は折角藤兵衛と出入りの準備として片腕と賴みし大八郎の殺されしにすこぶる落膽した、且つ浪次郎に助太刀したは藤兵衛のもとにある金五郎なる靑年と聞き一層藤兵衛を憎んだ小兵衛もその話しを聞いて大八郎の死を殘念がりこれに代るべき劍道者を物色した、すると芝の高輪、町道場を開いてゐる南部浪人の島田左京、石上市之進、相澤平太、關谷與一郎の四人に目をつけ巧めにとり込み、うまいことづくめで鶴見の自宅へ連れ來り種々義理をかけけんくわの用心棒とした、しかしけんくわを賣るべき口實がない、いろ〱と考へた末自分が幸ひ獨身である所から藤兵衛の娘、たきぬを嫁に貰はんと申込んだのである

廣告

平町南町
大和田醫院
電話一七〇番

平町田町通り
磐城病院
電話一一四番

貸借對照表
自昭和二年三月一日
至仝三年二月廿九日

資產之部	
未拂込資本金	五〇、〇〇〇、〇〇
什器	一、五五六、九七
商品勘定	三五、三三三、一三
得意先勘定	一七、二四三、四四
金銀及當座預金	二、二六一、三三
振替貯金	六〇一、五五
創業費	六七、二一
諸貸付金勘定	三、三七六、二五
所有土地建物	一二、三二五、〇〇
滯貸金勘定	六一、四四
受取手形	八五、〇〇
未收入金勘定	五六、七〇
合計	一三〇、七四八、七七
負債之部	
資本金勘定	一〇〇、〇〇〇、〇〇
假受金勘定	一、九七、一五
仕入先勘定	二、五八四、四三
商品切手	八九、八三
未拂金勘定	一七六、六八
諸積立金	一、一三五、〇〇
法定積立金	二五〇、〇〇
前期繰越金	三九四、一八
當期利益金	五、二九〇、五一
合計	一三〇、七四八、七七

右之通り候也

昭和三年

株式會社 百澤商店

專務取締役社長、百澤易興
追而監査役任期了に付改選ノ結果阿部政右衞門、殿木松造再選重任せり

健康禮讃

蜂ブドー酒

人生の最大な歡喜は　一家揃つて健康なることであります　美はしき皮膚の精彩と　魅力ある健康と美とを創造する蜂ブドー酒の食前常用は　人間生活を　ヨリ光明へ　ヨリ幸福へと導く　唯一の捷徑であります……

「蜂印香竄葡萄酒」といふ名稱を　皆樣のお奬めにより　且つは時勢の推移に鑑み　今後「蜂ブドー酒」と改めます　どうぞ　引續き御愛飲を願ひます

合資會社 近藤利兵衛商店 東京 大阪

嶄新ノ魁
春物ノ準備ガ出來マシタ
婦人洋傘　春ショール　子供洋服　ワイシャツ　合シャツ　春着中折
種々店内ニ陳列シテ有リマス
鶴屋商店
電話百四十番

耳鼻咽喉科專門
入院隨時（自炊の便あり）
大和田醫院
平町南町（電一七〇番）

可愛いゝお子樣の
通學用防水マントの
大特賣！
男子用　一、五〇ヨリ　二、六〇マデ
女子用　一、六〇ヨリ　二、七〇マデ
あかや洋服店
平二丁目（電二〇三）

夜間診療
胃腸　内科　十二指腸虫病　專門　内科部
梅毒　淋病　婦人病　皮膚病　專門　外科部
平南町 松村病院 電話七〇一

獻立表

めし之部
天丼　二十錢
牛めし　十錢
親子丼　三十錢
丼めし　八錢

さかな之部
天ぷら（一人前）　十錢
煮肴　十錢
櫻なべ　十五錢
牛なべ　二十五錢
肉煮込　五錢
味噌汁　二錢
湯豆腐　五錢
味噌豆腐　五錢

上酒（一本）　二十錢
コップ酒　十錢
ウヰスキー　十錢
かけそば　五錢
かけうどん　五錢
牛どんぶり　十錢
天ぷらそば　十五錢
なべやきうどん　十二錢
洋食
ライスカレー　十五錢
カツレツ　十五錢
チキンライス　二十錢
やきめし　十五錢

すべての準備をしてお待ちして居ります

平町 でげる食堂 田町七五

内科、小兒科
花柳病科
入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平局五〇七番

生徒募集
▲和服一般
▲婦人小供洋服
▲小笠流禮法
▲池ノ坊生花
▲其他手藝
▲特設夜間教授
平町銀治町
阿部裁縫塾
電話二一六四番

平町田町
高久病院
電話五一〜三番
内科小兒科、外科花柳病科、耳鼻咽喉科、レントゲン科
醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽清
藥劑士 佐竹菊雄

登錄商標
釀造元
福島縣平町
山崎合名會社
電話一〇番 營業部　釀造工場 電話二七番
振替東京一九七五五番
東京支店
上野車坂町四三
電話下谷五七三二番
振替東京六八三三二番

無産三團体に解散命令

勞農黨、評議會と青年同盟に

閣議を經て午後一時半

（東京電話）内務大臣は今十日午前の閣議を經て勞農黨及び日本勞働組合評議會、全日本無産青年同盟の三團体に對し治安警察法第八條第二項に據り午後一時半解散命令を發する事となつた

（午後零時四十分着）

共産黨の陰謀に一味八名を檢擧

勞農黨平支部を襲ひ

本日記事一部解禁

去月十五日午前二時頃突如平署伊藤高等主任外數名の刑は平町字材木町勞働農民黨磐城文部事務所に襲ひ就寢中　支部幹事齋藤廣作（二六）外三名を本署に引致更ら磐崎村小野田方面に

出動した　警官は大井川幸隆（二一）外三名を同樣引致直ちに嚴重な取調を開始したが即刻新聞記事一切の掲載を禁止され爲め報導の自由を有さなかつたが今十日午後三時該事件の内容の禁止を解除されるに至つたが事件の内容は秘密結社日本共産黨の陰謀依るもので平署に

引致された者は磐崎村大字白鳥字蟹打大井川幸隆（二一）平町字材木町齋藤廣作（二六）磐崎村湯長谷梅ケ平櫛田長次郎（二三）同村上湯長谷字力石今野政治（二三）同村藤原木村八十八（四一）同村大井川善雄（二八）同梅ケ平井上銀次郎（四九）同上湯長谷字力石佐藤幸助（四七）の八名で前記齋藤を殘し七名は十七日齋藤は十八日各れも取調の上放還されたものである

平獵友會役員會

大會準備其他

平獵友會では昨九日午後一時から平警察署樓上に於いて臨時役員會を開催し年度の縣下射撃大會に選手を派遣するため來る十七、八の兩日に亘り飯野村谷川瀬の射撃場に於いて射撃會を開き選手の豫選を爲す事となつた

呑ン平土工遺恨の亂暴

酒が不足だと

石城郡好間村大字上好間土工金成正安（二七）は去る七日夜十時ころ同村金成文藏方へ土工用のスコップを持つて景ばれ込み戸障子を破壊し家宅侵入同人の妻ヨネの寢室に飛び込み亂暴狼籍を働き文藏その他に傷を負はせて逃走行衛をくらましたので平署で係官出張取調中であるが原因は正安は年に似ず酒くせ惡く七日の夕刻文藏の弟子鈴木榮に酒を呑ませると強要したに耳を藉さなかつたのを遺恨に思ひ暴行を働いたものらしく平署で行衛器探中である

愈々八日投網した白井家大敷網

賑やかな祝宴を催し豊漁と安泰を祈願

小名濱における白井家經營の大敷網はその豊凶が直に同地方の景況を支配するまでに今や同濱における季節的の重要産業として目せられるに至り本年も漁期の切迫と共に過般來多數の漁夫によつて夫れ々着業の準備中であつたが投網祝は八日午後三時から築港埋立地續きの同事務所前賣場において小名川神官により田子元農林技師、鈴木縣議、大野東洋捕鯨事業場長、小野水産工業會社長、中田江名、立花小名濱各漁業組合長、其他地方有志及從業員三百餘名列席の上擧式先づ小名川神官の祭詞修祓につて白井一郎氏の挨拶より來賓總代町長鈴木榮氏祝辭を述へたる後白井家に特殊の關係を有する來賓として前日態々東京より來郡せる元農林省勅任技師現東洋捕鯨顧問田子勝彌氏（石城郡三坂村出身）は小野水産工業社長紹介の下に立つて

現在年産一千萬貫と注せらるる本邦の鯛漁業に關しその方法及磐城における鯛漁業、該魚族の種類かい游産卵その他棲息狀況等に關し最も通俗卑近なる講演を試み了つて酒宴に移つたが白井漁場旗のへんほんたる下に在つて同地稀有の盛況を見せた、因に同漁場では昨年の好成績に鑑がみ本年より更に投網一條を增設し大に今後の豊漁を期待されてゐる

戸籍研究會

十八日平町で

平區裁判管内各町村役場戸籍吏員の戸籍事務研究會は來る十八九の兩日平町元郡役所會議室に於て開催されると

山田校落成

御入典記念事業

石城郡山田尋常高等小學校は校舍狹隘腐朽の爲め新築中の所此程落成したので新學年より本の香ふ新校舍に移つた昨春校長折笠鬼子太郎氏赴に以來漸次教育の實績を擧ぐるに至つたもので村民よりの氣受もよし新校舍落成と共に御即位記念として工費千三百圓を以て奉安庫、並に四百圓を以て校門を建設すべく寄附募集を開始するや直に二千餘圓に達し豫定額を超過したので殘餘は校具の購入にみつる事とし近く起工を見る事となつた

猶餘日もけふ限り愈々滯納處分

合計一萬一千餘圓に達す

平町の町税滯納

平町の昭和二年度後期における町税滯納額は家屋税付加税九百十圓六十五錢、雜種税千二百六十四圓九十三錢、營業税五百四十一圓八十二錢この外特別税戸數割入千八百十三圓五十六錢合計一萬一千五百二十圓九十六錢に達し前年度の一萬四千八百八十三圓三錢にくらべると三千三百五十二圓七錢の減だがこれは二年度に至つて種目變更のため置屋税などが營業税中に包含せられたのによるもので町當局では滯納整理のため先月二十六日から督促狀を發し納税完了に努めてゐたが納税指定期日も今十日一杯で終るので滯納處分等の執行を見ることなく町民の自覺によつて納税成績をあげたといつてゐる

豚は減じて馬肉が大持て

平町去月需要

平町の去月中に於ける牛馬豚の屠殺數は牛十二頭二八〇一キロ瓦、積二頭二四七キログラム、豚九四頭四七五五キログラム、馬三十四頭五〇三キログラム、合計百四十二頭一萬二千八百三十三キログラムで一日平均約五頭の牛馬豚肉が平町民の口の中に入つた計算になるが此れを前年の三月に比較すると牛が一頭、馬五頭の增加で豚は十五頭を減んじてゐる

衛生功勞表彰

豊間村助役鈴木藤次郎並に政務伊勢吉の兩氏は同村衛生設備の改善及傳染病の豫防救濟等に盡力したかどで此程本縣伊東知事から各れも表彰狀を贈られた

近海の漁業

磐城丸の報告

小名濱町水産試驗場では漁業調査のために昨年十二月から磐城丸を派して本縣並に千葉縣の沖合まで調査せしめたが近年稀な不漁と銚子沖で漁業中漁具が流失したゝめ極めて不成績で三月十四日漁を打切り歸港したが漁獲高はかつき四尾、鯛一尾、よしきりさめ四十七尾、ねずみざめ九尾、まぐろ一尾、價格九百九十五圓に過ぎず他の出漁船も同樣不成績であつた

母親に金を無心し實の姉を斬る

意見されたのと憤慨し

湯本町勇屋の件

石城郡湯本町字三函旅館勇屋志賀きん長男秋芳（三六）は八日午後十時ごろ泥醉の上母きんに金の無心をしたのでその不心得を諭されたので立腹し母に打つてかゝる有樣に見兼た實姉ふみ（三八）がこれをたしなめたところ逆上した同人は矢庭に短刀樣のもので姉ふみの肩先深く切り込み同人がその場で昏倒したので驚き早速附近の醫師を招ぎ手當を施してゐたことは右の始末を平署に探知するところとなり九日午後三時刑事は同家に至り嚴重取調べを行つた

白鐵を延長

地元有志運動

石城郡植田町では有志等奢侈に關し最も通俗卑近なる講演を試み了つて酒宴に移つたが白井漁場旗のへんほんたる下に在つて同地稀有の盛況を見せた、因に同漁場では昨年の好成績に鑑がみ本年より更に投網一條を增設し大に今後の豊漁を期待されてゐる

相馬郷友會

會長に永野氏

本郡に在住する相馬郡出身永野柳造、井上貞次郎外數氏發起となり相馬郷友會を創立すべく昨九日午後七時から永野氏宅に發起人を開催した結果永野氏を會長に推し來る廿二日午前十時から松ケ岡公園に於いて創立發會式を擧行する事に決定したが會員は約五百名の見込であると

湯本の破藏師

二三人其濯　犯人未就縛

石城郡湯本町前町長高木巳之吉氏の愛妾同町裏町質店江尻タツ方の倉庫に九日午前二時頃怪賊押し入り質預品衣類百數十點を窃取逃走した犯人あり急報により伊藤警部補以下刑事急行調査すると賊は鋸樣の兇器を以て破藏したもので犯跡より推し少くとも二三名の共犯らしく平署では炭礦方面に主力を注ぎ犯人捜査中であるが未だ縛に就かないと

幸運者三千圓の大懸賞

本社創業七週年記念の一事業

本社は創刊七周年に相當するので之れを記念する爲め各種意義ある記念事業を執行する事となつたが今その一として來る可き平松ケ岡公園の櫻花時を一層殷賑ならしめ惡疫流行その他に禍され極度に沈滯せる現下の人氣を挽回する一方策として松ケ岡公園の櫻花最盛の日を撰び一大懸賞の壯擧を行ふ事となつた諸氏諸賢の御期待を乞ふ

詳細は近日紙上に發表

磐城新聞社

此頃藝者の出入りのはげしいのには驚く、これ果して何の徴ぞと改まるまでもない、深刻な不景氣を如實に現すものなのだ、新しい顔が出たと思へば、モウ住替して影が見へない、宵にチラリと三日月のやうだ◆顔の新しいのに平に來てナニが珍しいと聽くと、お客がキツト折箱を持つて歸ることなそうだ、そして兩袖に蜜柑を入れて身體のバランスをとる、おまけに吸物の種まで詰めさせる、まるで折詰を買ひに料理屋に來るようなのはタマゲルそうだ景氣がよくて新顔がふゑるのでなく收入減でどうにもやりきないから置いて合はず居て居はず水草を追ふて何時の間にかドロン

春雨煙る松ケ岡に盛大な忠魂祭

劍道は平署演武場で

大越中佐除幕式

町村長會石城支會並に在郷軍人石城聯合分會共同主催の忠魂祭は今十日午前十時から春雨靜に煙る松ケ岡忠魂碑前に於いて盛大に擧行されたが雨中にも拘らず縣知事代理佐瀬農商課長以下來賓多數出席縣立磐城中、磐女校、平第一、第二小學校、平陽、藤田、佑賢其の他在平官公私立學校の全生徒約五千名郡下青年團員消防組員各町村青年訓練所生外一般參列者相次いで參列し近來の盛會裡に正後閉式したが更らに本郡の生める軍神大越中佐銅像除幕式は同く午後一時から特に參列の爲め來平した前

陸軍大臣　陸軍大將宇垣一成氏を始め來賓數百名出席して開會遺子貢氏の除幕に依つて郷土の生める軍神は生けるが如く雨の中に巍然として其の雄姿を永遠揚土臺上に直立する青沼會長の式辭宇垣大將の祝辭等あり午後二時半閉會したが恒例による忠魂祭の郡下町村々會の優勝旗爭奪の劍道大會は雨天の爲め平署演武場で開催してゐるが本紙締切りまでには結果が判明せなかつた

一層配達の敏捷を期するため
ユラノスケ瓶詰
出張販賣所を開設致しました
平町四丁目二十一番地（平驛通り）
銘酒 西良の鹿
出張販賣所
電話二〇七番

新築移轉
耳鼻、咽喉科
場所（舊診療所裏通り）
合津醫院
平町仲田町七一
電話五五九番

入院隨意（自炊の便あり）
X光線科
外科專門
平南町
上田外科醫院
電話一二九

土地建物賣却廣告
平町三丁目三十一、三十二番地宅地二百坪（建物共）右賣却致度候間希望者は平町三丁目組合代表小野伊佐治に御相談被下度候
平町三丁目共同組合

のんですぐきく
クノー散
神經痛、頭痛、ロイマチス、齒痛、肩のコリ、其他疼痛時服用すれば奏効的確なり
論より證據直ちに試みられよ
定價　二十錢、三十錢、五十錢、一圓
平町各藥店ニテ特約販賣致します

◎徒弟入用
徒弟契約ニ付テハ年明キニ際シ有利ニ御相談申上候
金牌一等賞數回受領
磐城國平町
草野染工場
電話三四八番